



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

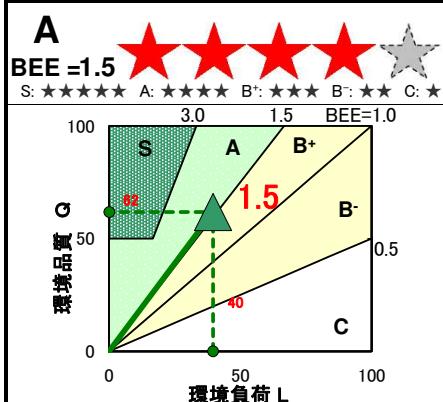
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪市中央区久太郎町1丁目計画 新築工事	
建設地	中央区久太郎町1丁目	
建築用途	共同住宅(分譲)	
建築主	阪急阪神不動産(株)	
設計者	(株)IAO竹田設計	
敷地面積	1,272.46	m ²
建築面積	660.50	m ²
延床面積	15,966.77	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上30階
完了年(予定)	2025年2月	

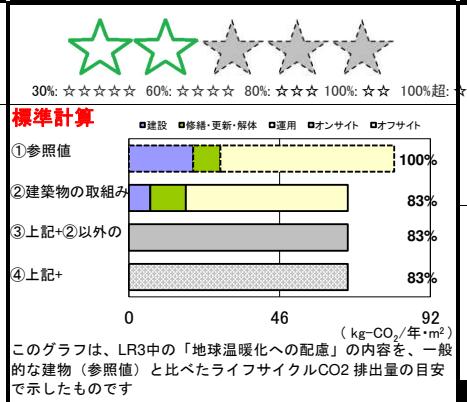
1-2 外観



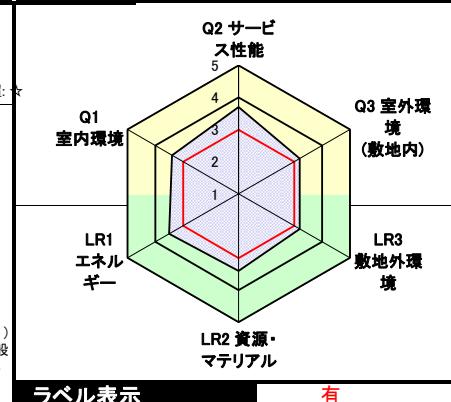
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

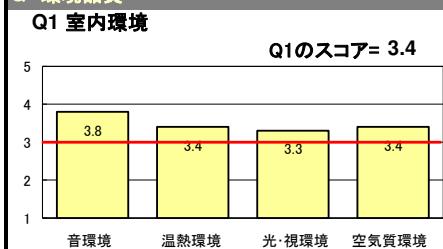


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



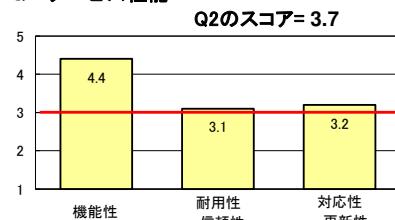
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質



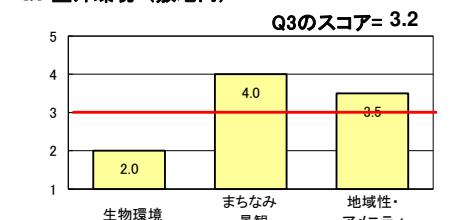
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

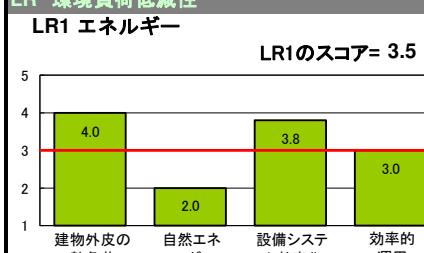


Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.2

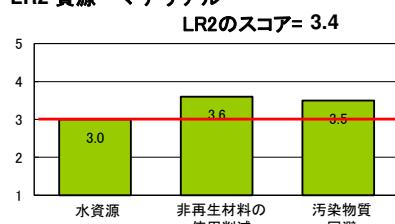


LR 環境負荷低減



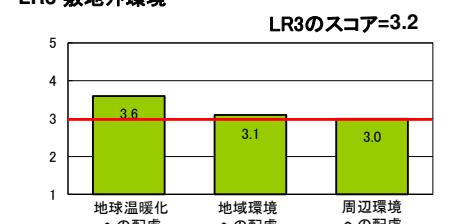
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

総合

建物配置は道路・隣地境界より後退させ、圧迫感を和らげ、後退部分には総合設計制度における歩道状公開空地（一部歩道整備）・広場状公開空地を確保し、周辺環境へ寄与する計画としている。

その他

Q1 室内環境

集合住宅という用途から、騒音等に配慮した計画とし、断熱性についても過不足なく計画する事で、快適な居住空間とする。

Q2 サービス性能

共用部の内装計画において、インテリアパース等と用いて検討・提案を行った。専有部の内部プランにおいてもコンセプトを掲げ、テレワーク対応ルーム（居室）・アトリエ（居室）・土間納戸（非居室）・ランドリーユニット（非居室）等を採用し、機能性を向上させる。

Q3 室外環境 (敷地内)

立地とタワーマンションであることから、高速道路等多くの視点場が想定できる。高速道路からの見え方も考慮し外観デザインの検討を行い、まちなみ・景観に配慮した。

LR1 エネルギー

全てのサッシにLow-Eガラスを採用等により建物外皮の熱負荷抑制を図り、品確法において、断熱等級4を得た。

LR2 資源・マテリアル

共用部において、エコマーク・グリーン購入法適合商品を採用し、非再生材料の使用削減に努めた。

LR3 敷地外環境

躯体の長寿命化や省エネにより、ライフサイクルCO₂排出を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	3.6
配慮事項	

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	3.8
配慮事項	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能 等級4 (相当)	-
建物全体[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量 0.92	0.92
非住宅部分[BEI][BEIm]	-